曽爾（そに）高原

幼児の自然体験活動マップ

体験の風をおこそう

国立曽爾青少年自然の家

曽爾高原で自然にふれよう

ここにおいでよ！

曽爾高原は、標高700mに位置する、大きな空と森、草原がある高原です。
走ったり登ったり、思いっきり身体を使って遊べる場所がたくさんあります。

国立曽爾青少年自然の家があります。

1980年、全国で5番目に開所された国立の青少年自然の家です。
子どもたちに「豊かな体験」を提供するために設置された施設です。
団体での宿泊のほか、さまざまな体験プログラムを提供しています。

曽爾高原があります。

曽爾高原は、火山の爆発により大量の火砕流が冷え固まって
台地が隆起を続けて残ったものです。
長い時間をかけて、今の亀山とお亀池を擁する曽爾高原の形となりました。
曽爾高原は、秋のススキが有名です。
春に山焼きをし、草刈りをし、人の手をかけて曽爾高原の自然が守られています。
草原が広がる景色はとても珍しく、見るだけでも印象深い体験となるでしょう。

自然体験の専門スタッフがみなさまの活動をサポートします。

自然の家には、子どもたちの自然体験をサポートする専門スタッフがいます。
どんな遊びをしたいか、どのような体験をさせたいかご相談ください。
安全管理の方法も含めて、ご相談に応じます。

曽爾（そに）高原でできる

幼児のための12の体験プログラム

★→指導・予約が必要　◆→予約が必要　◎→雨天実施可能

sense of wonder

01 亀山登山

標高849mの亀山は、幼児でも登れる手軽な山です。
亀の背中に似ていることから、亀山と名づけられました。
自然の家から、亀山→お亀池→遊歩道コースで3時間程度のハイキングができます。
（コースの組み合わせで、1時間～3時間の設定ができます）

Found it !

02 森のお医者さん◆

聴診器や虫眼鏡を持って、
森の中を歩きます。
木に聴診器を当てて音を聞いてみたり、
ミクロの世界を楽しむことができます。

03 曽爾の宝さがし◆

ビンゴカードを見ながら、
そこに書かれているお宝（自然物など）を探します。
いくつ列ができるか楽しむ「そにっとビンゴ」です。

04 葉っぱあわせ

指導者が選んだ任意の「葉」をじっくり観察して、
同じものを探し当てるゲームです。
※自然環境保護や事故防止のため、どの「葉」を選ぶかは、ご相談ください。
軍手を使用することをおすすめします。

05 野外炊事★

カレーライスやちゃんこ鍋づくり、
簡単に済ませたい時は、
棒パンづくりなどもできます。
※2週間前までにお申し込みください。

06 たき火遊び★

自然の家内の森を歩き、小枝を拾ってたき火をします。
（野外炊事用の薪を購入して、薪割りをすることもできます。）

07 木のコースター作り◆◎

丸太の輪切りをやすりでみがいてすべすべにし、
絵を描いたり、スタンプを押してコースターを作ります。

08 カプラ遊び◆◎

木のブロック「カプラ」を使って自由に造形物をつくります。
ドミノ倒しのような遊びもできます。

09 マークをさがせ★◎

とても広い自然の家の館内（廊下）を使って行います。
アクリルブロックを持って、はまるパズル穴を探します。

Night View...

10 お亀池ぐるっとハイキング

草原の中にある遊歩道を歩き、お亀池を1周するハイキングができます。
秋のススキだけでなく、春や夏はさまざまな野草を見る事ができます。
夜に星やお月見をしながら歩く「ナイトハイク」のコースとしてもおすすめです。

11 幼児用アスレチック「そにっこの森」◆

丸太の上を歩く平均台、丸太ステップ、よじ登って遊ぶゴロゴロ山、
ウッドマウンテン、ウッドウォールなど幼児向けのアスレチックがあります。

12 葉っぱのメダル◆

曽爾高原を歩いて、
お気に入りの葉っぱを1枚探します。
それをラミネートして、
しおりや下敷きをつくります。

遊んで身に付く36の基本的な動き

体のバランスをとる動き			体を移動する動き		
たつ	おきる	まわる	すべる	とぶ	のぼる
くむ	わたる	ぶらさがる	あるく	はしる	はねる
さかだちする	のる	うく	はう	くぐる	およぐ

物を操作する動き					
もつ	ささえる	はこぶ	おす	おさえる	こぐ
つかむ	あてる	とる	わたす	つむ	ほる
ふる	なげる	うつ	ける	ひく	たおす

国立曽爾青少年自然の家では自然の中での遊びを通して、
「幼児期に身につけたい36の動き」の場ときっかけを提供することができます。
指導者がこれらの動きを意識して遊ばせることで、運動の質を高めることができます。

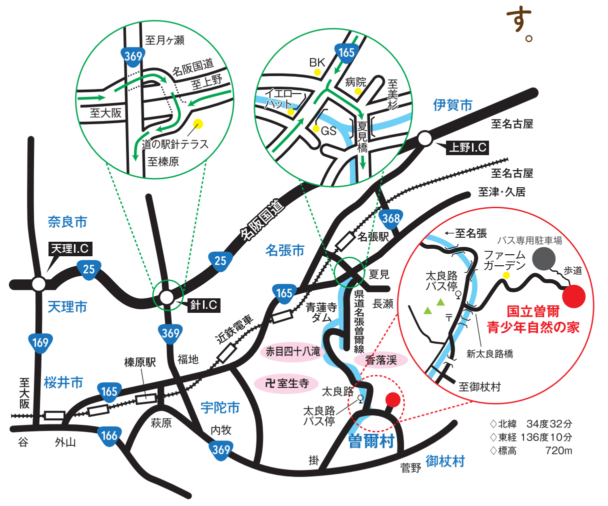
マスコットキャラクター
"そにっと"®

曽爾高原はススキで有名です。

もともとは、
自然の家がある太良路集落の民家の
かやぶき屋根に使われていました。
今は瓦やトタン屋根になって、
その循環は失われていますが、
地域の住民の手によって
景観保護が図られています。
曽爾高原は幻想的で、牧歌的で、
ふだんあまり見ることのできない
景色を楽しめます。
この曽爾高原を子どもたちに、
できれば低年齢の子どもたちに、
体験の場として
活用していただきたいと考えています。
小さい頃の体験は
すぐに成果が出るものではありませんが、
「原体験」として、
「生涯かけがえのない体験」として、
のちの人生に大きな影響を与える
ということがわかっています。

私たちは、
「子どもたちに豊かな体験を」
子どもたちの体験活動を推進しています。

お問い合わせ先

独立行政法人国立青少年教育振興機構
国立曽爾青少年自然の家
〒633-1202　奈良県宇陀郡曽爾村太良路1170
Tel.0745-96-2121
Fax.0745-96-2126
国立曽爾青少年自然の家　検索
https://soni.niye.go.jp